

「国民健康保険料、害獣対策」について

津山誠心会議 津本辰己



質問 ↓ 経済弱者が多数を占める国保の運営は、一般会計からの繰入金増額等、特段の政策的判断が必要ではないか。

答弁 ↓ 一般会計からの政策的繰入を財政

状況も勘案しながら、年次の計画により実施する予定である。

質問 ↓ ノートリアの生息地除去に有効な河川の浚渫等、県との協議状況は。

答弁 ↓ 県から浚渫等の施工場所の協議を受けている。ノートリア被害防除を効果的に行えるよう、今後も県に要望していく。

質問 ↓ 「デマンド乗合方式」は、交通空白地帯解消に有効な手法であるが、その実施時期は。

答弁 ↓ 現在、地域への説明、事業者へは費用積算を依頼しており、調整ができた段階で実施したい。

クリーンセンター建設事業について

津山誠心会議 北本周作



質問 ↓ 反対は一部にあるが領家及び周辺町内の現状は。

答弁 ↓ 領家、中北下、鏡野町下原上町内会は当初より理解と協力がある。また、当初は反対であった下原下町内会も現

在では容認に変わったと聞いている。

質問 ↓ 久米公民館改築のスケジュールは。

答弁 ↓ 久米公民館は、来年二月から現公民館の解体とアスベスト除去工事を実施し、平成二十四年三月の完成を目指す。

質問 ↓ 廃止された県農業試験場北部支場の跡地利用と管理は。

答弁 ↓ 四月に検討委員会を設置、JAの水稲育苗施設、担い手育成や農業体験の場、特産物栽培等の利用計画の素案をまとめた。水路、道路、草刈り、境界は県が維持管理を行っている。また、鳥獣被害対応策を県に要望していく。

鳥獣被害防止計画を作成

みどりの会 川崎 修



質問 ↓ 害獣被害に市独自の取り組みを。

答弁 ↓ 今年度を目途に被害防止計画を作成し、今後は総合的な対策に取り組んでいく。

質問 ↓ 津山市の耕作放棄地の実態は。

答弁 ↓ 約七百二十五haで農地面積の十二％を占める。耕作放棄の要因は鳥獣被害・農業者の高齢化などが考えられる。

質問 ↓ 中山間地域等直接支払い第三期対策の取り組み予定は。

答弁 ↓ 対象面積二千haの内、今年度は約千二百haが予定されている。

質問 ↓ 津山市の街路樹の種類は。

答弁 ↓ 津山市の花（さつき・桜）と木（楠）を含め主なもので、約十一種類である。

質問 ↓ 街路樹のケヤキと電柱が同一線上に位置しているが、変更できないか。

答弁 ↓ 現状の変更は困難であるが、今後は樹種や位置について検討する。

道徳教育の推進と害獣被害について

みどりの会 竹内靖人



質問 ↓ 家庭や地域、学校で道徳教育を推進する仕組み、ひとつづくり・地域づくりを進め、お互い様の「まちづくり」に取り組む必要は。考えは。

市長 ↓ 生涯学習を通し、ひとつづくり・地域づくりを推進する事は、今後の行政施策において重要で、上手なコミュニケーション形成により、地域力は新しく力を発揮すると考える。地域共同体の形成実現に向け、生涯学習や公民館活動の促進に取り組むたい。

質問 ↓ ノートリア捕獲に市独自の補助金制度をつくり、捕獲も農家個人でできる仕組みが必要ではないか。

農林部長 ↓ ノートリアの捕獲については、農家の方が自衛の為に行えるように、防除実施計画の策定を検討したい。併せて捕獲補助金についても前向きに検討したい。